

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO Virtualization コンテンツパックバージョン 1.3.0

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2014 年 11 月
ソフトウェアリリース日: 2014 年 11 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

謝辞

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

ご注意	2
保証	2
権利の制限	2
著作権について	2
商標について	2
謝辞	2
ドキュメントの更新情報	3
サポート	4
概要	6
コンテンツパックの統合	6
OO Virtualization コンテンツパックのデプロイ	7
修正された不具合	8
既知の問題	9

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Virtualization コンテンツパック 1.3.0 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

Virtualization コンテンツパック 1.3.0 は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、OO Virtualization コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Citrix Xen Server	5.0、6.0
Hyper-V	Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2
Linux KVM	KVM + libvirt 0.8.7
System Center Virtual Machine Manager	2008 R2、2012、2012 SP1、2012 R2
VMware vSphere	4.0、4.1、5.0、5.0u1、5.1、5.5
VMware ESX	3.5、4.0、4.1
VMware ESXi	3.5、4.0、4.1、5.0、5.1、5.5
VMware Virtual Center (vCenter)	4.0、4.1、5.0、5.1、5.5

OO Virtualization コンテンツパックのデプロイ

OO プラットフォームバージョン 10.00 以降が、Virtualization コンテンツパック 1.3.0 をサポートしています。ただし、Virtualization コンテンツパック 1.3.0 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.10 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP OO Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、ALM グローバルID 番号 (QCCR) です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C24420	パスワードに "&"、"<"、">" のいずれかの文字が含まれている場合に VMWare オペレーションが接続できない	パスワードで特殊文字が使用できるようになりました。

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

「Get All Hard Disks for VM」オペレーションは、9 台を超えるデバイスがアタッチされていると正しくないデータを返す

「/Integrations/VMWare/VMware Virtual Infrastructure and vSphere/Virtual Machines/Configuration」の下**の「Get All Hard Disks for VM」**オペレーションを使用する際に、9 台を超えるデバイスがアタッチされていると、Disk Count Number と Name が正しく解釈されず、正しくないデータが返されます。

8 台以上のディスクを追加しようとすると、「Add New Disk To VM」オペレーションが正しく動作しない次のオペレーションは、8 台以上のディスクを持つ仮想サーバーにアタッチしようすると失敗します。

- 「/Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure and vSphere/Virtual Machines/Configuration/」の下**の「Add New Disk To VM」**
- 「/Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure and vSphere/Virtual Machines/Configuration/」の下**の「Add Existing Disk To VM」**

Scvmm: 「Get Virtual Disk Drive」フローで無効なテンプレートに対して返されるメッセージが変化する

networkUtilization または **cpuMax** 入力に正しくない値を指定して実行したときに、「Set Template」フローが返すエラーメッセージが SCVMM 2012 と SCVMM 2008 R2 とで異なります。

vSphere: 「Remove Datastore from Host」のエラーメッセージが変化した

dataStore 入力に無効な値を指定して実行したときに、「/Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure and vSphere/Host/Storage/」の下**の「Remove Datastore from Host」**オペレーションが返すメッセージが、vSphere 5.1 より前とは異なります。以前のメッセージは「dataStore input is required」でしたが、現在のメッセージは「datastore must not be null」です。

